

グループ概況

ブリヂストンの事業ポートフォリオ

ブリヂストンの事業ポートフォリオは、コア事業であるタイヤ事業、成長事業であるソリューション事業、新たな種まきとしての探索事業と、化工品・多角化事業の4つで構成されています。各事業の特性に応じて強みを活かすことで、事業ポートフォリオの強化を推進しています。

タイヤ事業

コア事業

商品を創って売る

- ・乗用車用タイヤ
- ・トラック・バス用タイヤ
- ・スペシャリティ系タイヤ：
鉱山・建設車両用、航空機用、
農業車両用、モーターサイクル用 など



ソリューション事業

成長事業

お客様が使う段階で 商品の価値を増幅

- ・生産財系 BtoB ソリューション
 - 鉱山ソリューション
 - 航空ソリューション
 - トラック・バス系ソリューション
- ・小売サービスソリューション



探索事業

新たな種まき

社会価値の提供/ サステナビリティを中核に

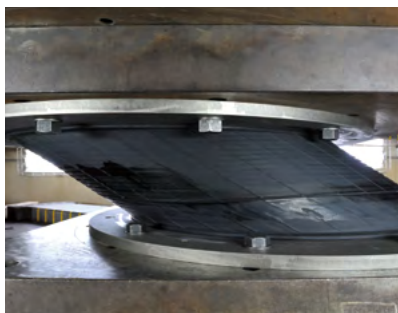
- ・リサイクル:タイヤを原材料に戻す
- ・AirFree™(エアフリー)
- ・月面探査車用タイヤ
- ・ソフトロボティクス など



化工品・多角化事業

シャープにコアコンピタンス が活きる領域にフォーカス

- ・油圧・高性能ホース、ゴムクローラ
- ・樹脂配管、免震ゴム
- ・スポーツ(ゴルフボール など)
- ・サイクル など



財務・非財務ハイライト (2025年12月31日時点)

ブリヂストンは、世界中に約120の生産・研究開発拠点をもち、150を超える国と地域で事業を展開しています。



2025年概況

連結売上収益

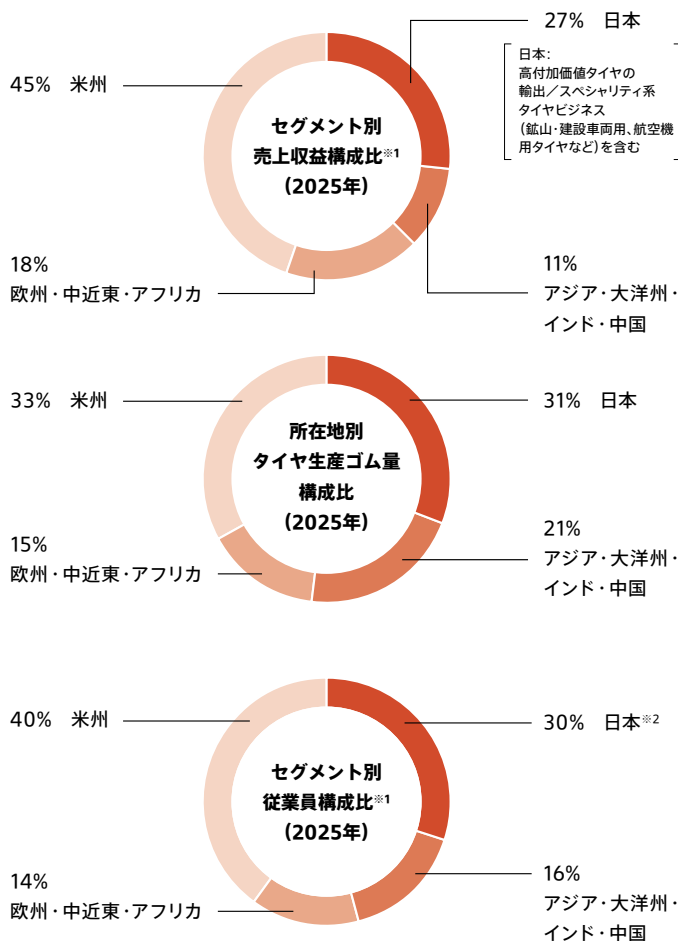
4兆4,295億円

連結タイヤ生産ゴム量

146万トン

連結従業員数

115,716名



※1 売上収益、従業員数の地域区分は、有価証券報告書におけるセグメント区分に準拠しています。

※2 日本の従業員数には、有価証券報告書における「日本」「その他」「全社(共通)」セグメントを含んでいます。

使命・企業理念・Vision・企業コミットメント

[使命]

Mission

最高の品質で社会に貢献

ブリヂストンの使命は、1968年に社是として制定した「最高の品質で社会に貢献」です。「永続する事業とは、社会に貢献する事業である」という創業者の事業観が反映され、現在のブリヂストンにおいて、使命として受け継がれています。当社グループでは、この使命を果たすために、全ての従業員が常に意識すべき姿勢を、4つの心構えとして示しています。現在までに築きあげてきた企業文化や多様性をさらなる成長の原動力とすべく、世界中の従業員一人ひとりが行動する上での共通の価値観を、企業理念の中で表しています。

心構え

「誠実協調」

常に誠意をもって、仕事、人、社会と向き合うこと。そして、異なる才能、価値観、経験、性別や人種といった多様性を尊重し、協調し合うことで、よい結果へと結びつけること。

「進取独創」

世の中で起こっていることを、常にお客様の目線で理解すること。その上で、将来何が起こるかを想像し、より一層社会の役に立つ様々な「創造」に、積極的に挑戦すること。人の真似ではない方法で、世の中の新しい需要を作り出すこと。

「現物現場」

現場に足を運び、「真実」を自らの目で確かめること。現状を是とせず、本来「あるべき姿」と照らし合わせ、最善へと向かうための意思決定を行なうこと。

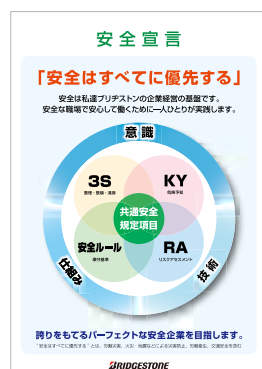
「熟慮断行」

物事を遂行する際は、様々な場面やあらゆる可能性を想定し、深く考えること。「本質は何か」を見定め、進むべき方向を決断すること。そして、スピード感をもって、忍耐強くやり遂げること。

さらに、「安全はすべてに優先する」を掲げる安全宣言、品質宣言、環境宣言を制定し、企業理念体系として整備し、企業活動の基盤としています。

(安全:P34参照、品質:P35参照、環境:P54-61参照)

● 企業理念体系



絶対基盤



顧客価値創造
競争優位の確立




社会価値創造

このような企業理念体系のもと、2020年に、ビジョンとして「サステナブルなソリューションカンパニー」を掲げ、企業と社会の双方の持続可能性を高めるための活動を推進しています。さらに、このビジョンをブリヂストンらしい価値創造として具体化した企業コミットメントである「Bridgestone E8 Commitment (E8コミットメント)」を制定し、持続的な成長に向けた歩みを着実に進めています。

Vision

2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして、 社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ



Bridgestone E8 Commitment to Our Future

未来の子供たちからの預かり物であるこの地球のために。
ブリヂストンはコミットする。

Energy	カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えることにコミットする。
Ecology	持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐことにコミットする。
Efficiency	モビリティを支え、オペレーションの生産性を最大化することにコミットする。
Extension	人とモノの移動を止めず、さらにその革新を支えていくことにコミットする。
Economy	モビリティとオペレーションの経済価値を最大化することにコミットする。
Emotion	心動かすモビリティ体験を支えることにコミットする。
Ease	より安心して心地よいモビリティライフを支えることにコミットする。
Empowerment	すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくりにコミットする。

これまでの成長の歩み

1931年 創業

ブリヂストンは、1931年に福岡県久留米市で創立されました。日本のモータリゼーションを足元で支えるとともに、早くから海外進出を視野に入れ、商品イメージや海外市場での通用性を考慮して、創業者の姓を英訳し、語呂を良くして社名・商標名を「ブリヂストン」としました。創業翌年にはアジアへも輸出を開始するなど、海外への事業展開を着実に進めていきました。



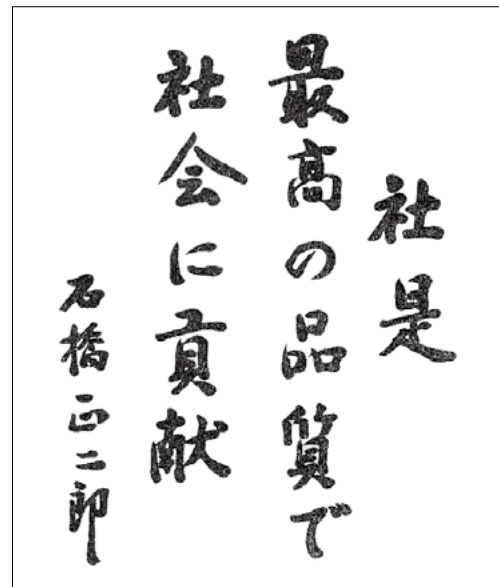
第一号タイヤの誕生



バタビア(現在のジャカルタ)の代理店

1968年 社是制定

経営・事業の拡大に伴い、1950年代後半から1960年代にかけて、経営の近代化と総合的品質管理活動を推進しました。この品質活動は、「デミング・プラン」と称され、現在も継続されています(P32参照)。1968年には、卓越した品質管理を実施している企業に授与される「デミング賞実施賞」を、タイヤ業界で初めて受賞し、同年に「最高の品質で社会に貢献」を社是として制定しました。



社是



デミング賞実施賞メダル

デミング賞実施賞受賞

1988年 ファイアストーン社買収

1988年には、米州・欧州への本格的な拡大を視野に、当時、米国第2位のタイヤメーカーであったファイアストーン社を買収しました。買収額約26億ドルは、当時の日本企業の海外企業買収額として最大の規模でした。この買収によりブリヂストンはタイヤ業界における世界シェアトップ3に名を連ねることとなり、ファイアストーン社との融合を通じて、世界に事業基盤を拡大していきました。

2000年代 ソリューション事業の展開と イノベーションの推進

2000年代には、商品をお客様が使う段階での価値創造を目指し、ソリューション事業の展開を推進しました。その一環として、2007年には米国を拠点とするリーディング・リトレッド*カンパニーであるバンダグ社、2019年には欧州のリーディング・デジタルフリートソリューションカンパニーであるWebfleet Solutions社を買収しました。これらの取り組みにより、タイヤを起点とした新たな価値創造の領域を拡大しています。

※ リトレッド:お客様が使用されたタイヤのすり減った表面(トレッド)部分のゴムを貼り換え、再び使用可能となったタイヤを提供

Firestone

2022年には、成長に向けてイノベーションの創出を加速させるため、東京・小平市にある研究開発拠点を再構築し、パートナーとの共創を通じて新たな価値を創造する拠点として、「Bridgestone Innovation Park」を本格稼働させました。

タイヤメーカーとしての原点 —モータースポーツ活動—

ブリヂストンは、1963年の第1回日本グランプリに始まり、60年以上にわたりモータースポーツ活動を推進しています。その中でも最大のマイルストーンとなるのが、1997年のFormula1®への参戦です。ブリヂストンブランドを世界に広める大きな役割を果たすとともに、世界最高峰のレースという極限の環境において技術力を磨き上げました。その情熱は、現在も受け継がれています。また、1995年には米国の伝統的なレースであるINDYCAR® SERIESにファイアストーンブランドで復帰し、現在でも独占タイヤサプライヤーを務めるなど、世界各地におけるモータースポーツ活動を通じて、技術力とブランド力の向上に取り組んでいます。

1960s



1963 第1回日本グランプリ

1980s



1981 ヨーロッパF2参戦

1995~



INDYCAR® SERIES

2002~2015



MotoGP™参戦
2015 Round 18 Valencia



1976 F1®日本グランプリ参戦

1970s



1991 DTM参戦

1990s



ル・マン24時間耐久



Formula 1®参戦

1997~2010

FIA世界選手権レースへ参戦